

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-66327

(43)公開日 平成5年(1993)9月3日

(51)Int.Cl.
F16C 19/38
SS/58発明記号
F1
序内登録番号
6813-3J
6814-3J

F1

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数3(全2頁)

(21)出願番号 実開平4-13966

(71)出願人 000005107

(22)出願日 平成4年(1992)2月13日

株式会社不二越

百山県富山市石企20号地

(72)考査官 鶴見 幸一

百山県富山市石企20号地 株式会社不二越

内

(74)代理人 弁護士 河内 和二

(54)【考査の名稱】 並列組合形直列アンギュラ玉軸受

(57)【要約】

【目的】DTすきまやDTすさまのばらつきがなく、しかも負荷容量の大きな並列組合形直列アンギュラ玉軸受を提供する。

【構成】一体の内輪2の外周面に2列の軌道溝3a, 3bを設ける。さらに一体の外輪1に2列の軌道溝4a, 4bを設ける。これらの軌道溝の間に多數のボール3a, 3b及び保持器8a, 8bを組み込む。さらに、外輪1には一側面側にのみカウンタボアと反対側面側にのみ肩おとし部7を設ける。

実用新案登録請求の範囲

(2)

【実用新案登録請求の範囲】
 【請求項1】 一体の内端の外周面に二列の軌道溝を設け、一体の外端の内周面に前記軌道溝に対応する軌道溝を設け、かつ前記二列の軌道溝にそれぞれ多数の玉とこれらを軌道溝上に定位する保持器とを介設し、さらに、外端の一列端面側及び前記内端面と反対側の内端の側端面側のみに、それぞれカウンタボアと肩おとし部を形成し、該カウンタボアと肩おとし部にはともに適切な量のボールとの干涉量をもたらすことを特徴とする並列組合形複列アンギュラ玉軸受。
 【請求項2】 前記のカウンタボアと、前記肩おとしのいずれか一方をボールとの干涉量をゼロとした請求項1記載の並列組合形複列アンギュラ玉軸受。
 【請求項3】 前記のカウンタボアと、前記肩おとしを異なるボールとの干涉量をゼロとした請求項1記載の並列組合形複列アンギュラ玉軸受。

【図面の簡単な説明】

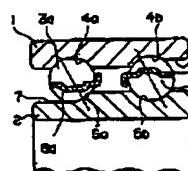
* [図1] の考案の実施例の断面図である。
 [図2] の考案の組立て状態を示す断面図である。
 [図3] の考案の軸受を自動車用最終減速機ビニオン軸に組入た場合の断面図である。
 [図4] 本品の断面図であり、(イ)、(ロ)は並列アンギュラ玉軸受の組合せを示し、(ハ)は複列深溝軸受を示す。
 [図5] 干渉量を示す複列軸受の断面図である。

【符号の説明】

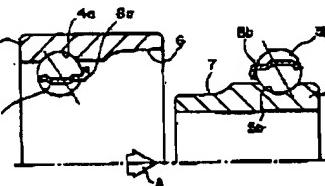
10	1	外端
	2	内端
	3	ボール
	4	軌道溝(外端)
	5	軌道溝(内端)
	6	カウンタボア
	7	肩おとし部

＊

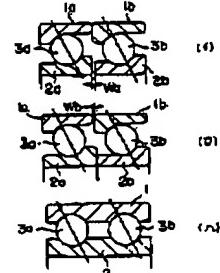
[図1]



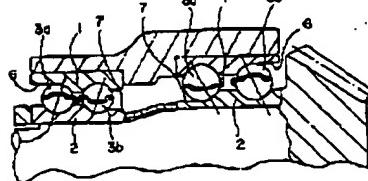
[図2]



[図4]



[図3]



[図5]

